

会議等名	平成 26 年 第 5 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 26 年 10 月 10 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 40
場 所	海老名市役所 6 階 議会議員全員協議会室
出席者	出席者：大治委員長、城向副委員長、市川副委員長、青木委員、阿部委員、霜田委員、諏訪委員、高橋委員、菅生委員、長谷川委員、 (以上 10 名出席) 欠席者：山田委員、大島委員 海老名市：清水理事兼財務部長、伊藤企画財政課長、告原課長補佐兼政策経営係長、石田主査、西尾

1 開 会

伊藤 企画財政課長

2 委員長あいさつ

本日は、今年度を実施した外部評価結果に伴う担当部課における次年度の方向性や考え方を、各グループのリーダーが中心となり選定した事業について、担当課から説明を受けることになっているとのことです。タイムスケジュールなど議事進行については事務局に委ねますので、よろしくお願ひしたい。

3 議 題 【議事進行：告原課長補佐兼政策経営係長】

(1) 各所管課における次年度の方向性や考え方について

- ・本日の進め方について事務局から次のとおり説明を行う。
- ・外部評価対象全 93 事業の外部評価結果及び平成 27 年度における担当部課の考え方を一覧表にした。(資料 2) このうち、外部評価委員会における各グループのリーダー(委員長及び 2 名の副委員長)が中心となり選定した 14 事業について、所管課説明スケジュール(資料 1)に基づき、担当課の職員より説明を行う。
- ・1 事業あたり 2 ~ 3 分程度で説明を行い、その後、外部評価委員会より質問や意見を伺う。

□外部評価委員より意見のあった事業

各事業における質疑応答は省略し、外部評価委員からの主な意見を整理。

○評価全般に対する意見

- ・行政評価の実施が平成 26 年度の初めの時期であり、評価を受けて今後どう考えるかを検討する時期が 10 月であるため、例えば“見直し”の評価を受け、10 月より前に見直した場合は、評価を受けた担当課の今後の考え方が“現状継続”になる場合があり、わかりづらい。時点が異なるため難しい課題だが、整理する必要がある。

- ・評価対象事業選定に係る各委員からの意見（道路整備に係る事業について）
 - ・何を基準に評価したらいいかわからない。
 - ・道路マスタープランの評価はできるが、マスタープランに基づいて進めている事業は評価する必要がないのではないか。
 - ・予算規模や進捗状況等をチェックする等違った方法での評価も有り得るのではないか。
 - ・評価する必要はある。道路の整備は都市計画の根幹を成しており、見守る必要がある。
 - ・予算も大きく、重要な事業である。評価は必要と考える。

○各事業に対する意見・要望

- ・生活習慣病検診（保健福祉部健康づくり課）
 - ⇒地域と連携し、地域に保健師が出向き、健診することで受診率が上がるのではないか。
- ・ひとり親家庭等の支援（保健福祉部子育て支援課）
 - ⇒重要な事業が多く盛り込まれている事業であるが、具体的な活動実態が調書からは見えてこない。調書を市民が見た際に実施している事業内容や問題点等がわかる記載に心掛けていただきたい。
 - ⇒事業名が、盛り込まれている全ての事業内容を示せていない。わかりやすい事業名に変更すべきである。
- ・地域活性化実証実験（市民協働部地域自治推進課）
 - ⇒ユニークな事業であり、地域で作り上げる、地域活性化の救いになるような事業である。是非広めていただきたい。釣り堀については採算性を考えていてはせつかく優れた事業であるのに続かなくなってしまう。大きな赤字とは思わない。本格実施に切り替えてもよい時期だと思う。
- ・えびな市民まつり（市民協働部市民活動推進課）
 - ⇒外部評価委員の中でも2～3年に1度にし、盛大に実施すべきという意見と市民が毎年楽しみにしているため、毎年実施すべきという意見で分かれた。また、花火を隔年にし、盛大に打ち上げる等様々な検討ができる。市民が一同に介する貴重なイベントである。大事にしていきたい。
 - ⇒収支も重要だが、都市ブランドとしてプラスの要素になる事業である。収支だけでなく、どのようなプラスがあるか視点を変えてみることも重要である。
- ・幹線・準幹線道路の整備（建設部道路整備課）
 - ⇒海老名駅西口の区画整理や運動公園周辺地区の計画等、海老名の社会情勢や地域の構造はここ数年で大きく変わってきている。道路交通マスタープランを見直す必要があるのではないか。
 - ⇒担当部課評価の“判断理由及び内容”の欄に“引き続き同一の事業を特段変更することなく継続する。”の記載しかなく、内容が全くわからなかった。全体計

画のうち何%完了したのか、全体計画のうちどの部分を整備したのか等がわかる調書にしていきたい。

⇒肅々と事業を進めることが使命であるが、事業の目的は何かを考え、その路線がいつ整備され、いつ渋滞が緩和されるのか、整備することで効果があった箇所や余計にコストがかかった箇所を説明する等、市民にわかりやすいよう工夫していきたい。

- ・定員の適正化（市長室職員課）

⇒市役所の仕事はサービス業である。臨時職員が増えると管理監督者は大変ではないか。また、責任の重い、法律に基づいた仕事である。今後策定する計画では本採用の職員を増やすことも考える必要がある。人件費削減の視点もあるが、将来のことを考え、管理監督者の目が行き届くよう人員を確保する必要もある。

（２）その他

平成 26 年 第 6 回海老名市外部評価委員会の日程について

11 月 20 日（木）午前を第 1 候補、11 月 26 日（水）午後を第 2 候補とし、欠席者の都合を確認した上で日程及び場所を確定する。

4 閉 会

伊藤 企画財政課長

以 上